

令和7年度 京都府立大学 一般選抜試験（後期日程） 「小論文」（公共政策学部）

○出題意図・配点

一（140点）

課題文から筆者の主張を読みとる能力とそれに基づきながら与えられた資料を活用し、自分の意見を述べる能力を問う問題である。

問一は、著者がいう「論文」について、受験生が課題文を的確に理解した上で、論理的に述べられているか、基礎的な読解力、論述力を問うものである。

問二は、受験生が、課題文から著者が説明する思考の整理を理解した上で、与えられた資料を活用し、第二次情報もしくは第三次情報になるように、論理的に自らの意見を論じることができるかどうかを問うものである。

二（130点）

問題で取り上げた4つの図から、エシカル消費に関する消費者意識の特徴を読み取ったうえで、エシカル商品・サービスの普及促進にどのような方法が考えられるか、自らの考えを問う問題である。評価のポイントは、主に以下の2点である。

1. 図1より、消費者のエシカル商品・サービスの購入状況や購入意向は、全体として、また属性別に見たときにどのような特徴を見出せているか、また以前（2019年度や2016年度）の調査結果と比較して、どのような変化を見出せているか。
2. 主に図2～図4の結果に基づいて、消費者がエシカル商品・サービスの購入意欲を高めうる方法について、具体的に提示できているか。図表を読みとる力を問う問題である。

図の一部の情報のみ限定して持論を展開させるのではなく、図を組み合わせ読みとれる情報を的確につかみ、妥当な考察がなされているかが評価のポイントである。

三（130点）

課題文を理解したうえで、自分の意見を述べる問題である。「日本語としての正確さ」「課題文の解釈の的確さ」「自分の意見の表現力」が評価のポイントである。課題文を理解し、参照したうえで、自分の考えを論理的に表現、展開できているかを評価した。